

平成30年度社会福祉法人大子町社会福祉協議会事業報告

長寿化・少子化による超高齢社会の中で多様化するニーズに対し、町民の理解と協力を得ながら、福祉・保健・医療関係者、各種団体・施設・ボランティアとの連携を図り、子どもから高齢者、障がい者“だれもが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり”を目指し、各事業を実施した。

I 地域福祉事業

1 法人運営事業

○理事会・評議員会・監査と次のとおり開催した。

(1) 理事会 4回 (5/30、11/16、H31/1/18、H31/3/18)

(2) 評議員会 3回 (6/20、1/15、H31/3/30)

(3) 監査 1回 (5/17)

2 社協基盤の強化

○社会福祉協議会の基盤である事務局は、5名の専任職員体制において、複雑多様化する社会福祉の課題に対応するため、区長・民生委員児童委員・ボランティアを始め、保健・福祉関係者の協力を得ながら福祉の向上に努めた。

○自主財源確保のため、全戸会員を目標に賛助会費として一般・特別会費徴収に努めた。

<地区別実績額>

(単位=円)

地区名	世帯数 ・口数	金額	内 訳		
			普通会費 700円	特別会費 1,500円	福祉施設 その他
			世帯数・口数	世帯数・口数	件数
大子	1,444	1,065,000	1,375	67	2
依上	517	370,700	506	11	—
佐原	405	293,100	393	12	—
黒沢	526	385,000	505	21	—
宮川	642	463,000	625	17	—
生瀬	602	430,200	591	11	—
袋田	637	465,100	613	24	—
上小川	631	456,100	613	18	—
下小川	179	130,100	173	6	—
その他	41	67,400	—	10	31
合計	5,624	4,125,700	5,394	197	33

3 共同募金運動

○共同募金配分金の財源確保のため、区長会・女性の会等多くの関係者の協力を得て、赤い羽根募金・歳末たすけあい募金運動に努めた。

<赤い羽根共同募金地区別実績額>

(単位=円)

地区名	実績額	付記
大子	862,200	
依上	305,400	
佐原	241,200	
黒沢	311,500	
宮川	378,600	
生瀬	355,800	
袋田	369,000	
上小川	378,000	
下小川	107,400	
法人募金	730,000	町内69か所企業
一円玉募金	46,320	各小中学校・清流高校
職域募金	71,112	各小中学校・清流高校・振興公社・役場・社協職員 他
その他	105,444	募金箱等
合計	4,261,976	

- 共同募金配分金を財源に老人クラブ連絡協議会と共催で、クロッケー・ゲートボール・輪投げ・ペタンク・グラウンドゴルフ大会を実施し、高齢者の健康づくりや生きがい対策等に努めた。
- 共同募金配分金を財源に各地域の単位老人クラブと連携し友愛訪問活動を行い、ひとり暮らし・寝たきり高齢者となっても住み慣れた地域で同世代の仲間同士と励まし、支えあいながら住み続けられるよう地域づくりの推進に努めた。(訪問実人数160名)
- 共同募金配分金を財源に山のつどい及び身障者スポーツ大会等への協力援助を行うとともに、障がい者2団体の育成援助等、身体障がい者(児)福祉の充実に努めた。
- 共同募金配分金を財源にひとり親家庭の小学校入学児童6名に対し“入学祝のつどい”を実施し、お祝いを贈呈した。
- 共同募金配分金を財源に「子育て十章」を更生保護女性の会と共催で作成し、各保育所(園)・幼稚園・小学校の保護者に配布し、子育て支援に努めた。

<赤い羽根共同募金配分実績額>

(単位=円)

区分	配分額
老人福祉活動費	295,528
障害児・者福祉活動費	60,000
児童・青少年福祉活動費	30,646
母子・父子福祉活動費	90,000
福祉育成・援助活動費	2,551,279

ボランティア活動育成事業費	467,546
合 計	3,494,999

<歳末たすけあい募金地区別募金実績額> (単位＝円)

地区名	金 額	地区名	金 額
大 子	431,800	生 瀬	178,100
依 上	152,800	袋 田	184,400
佐 原	120,600	上小川	189,900
黒 沢	155,700	下小川	53,700
宮 川	189,300	その他	9,641
		合 計	1,665,941

<歳末たすけあい募金配分実績額> (単位＝円)

内 容	金 額
温かいお正月事業（障害福祉サービス事業所6ヶ所・高齢者福祉施設6ヶ所）	605,784
一人暮らし高齢者へのおせち品配布（80歳以上）492名	861,856
余剰金（次年度へ繰越金）	198,301
合 計	1,665,941

○災害義援金について、義援金の募集、並びに受付業務を行った。

- (1) 平成28年熊本地震義援金
- (2) 平成30年大阪府北部地震義援金
- (3) 平成30年米原市竜巻災害義援金
- (4) 平成30年7月豪雨災害関係義援金（1府9県）
- (5) 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

4 地域福祉活動推進事業

○全地区で区長、民生委員児童委員が中心となり、地域における特性を生かして実施されているひとり暮らし高齢者等の配食サービスや会食会、訪問活動に補助金を交付し、地域住民の交流の機会の確保や地域福祉の充実に努めた。

・地域福祉活動推進会議開催日（補助金交付）：9/19

<地区別活動実績>

地 区	実施日	内 容
大 子	11/17	ひとり暮らし高齢者配食
依 上	11/23	ひとり暮らし高齢者日用品配付
佐 原	12/6	ひとり暮らし「友愛会」会食懇談会
黒 沢	11/15	ひとり暮らし高齢者配食
宮 川	11/28	ひとり暮らし高齢者日用品配付

生瀬	11/20	ひとり暮らし高齢者日用品配付
袋田	11/16	ひとり暮らし高齢者日用品配付
上小川	11/27	ひとり暮らし高齢者食品・日用品配付
下小川	9/17	敬老祝品配付

○地域住民同士の支え合いの必要性をテーマに地域づくり講演会を開催し、地域福祉に対する意識の向上・推進に努めた。

- ・開催日 平成30年11月21日
- ・場所 太子町文化福祉会館 文化ホール
- ・内容 演題 「自分たちの未来は住民力で」
講師 ノンフィクションライター 中澤 まゆみ氏
- ・参加人数 186人

5 ボランティア活動推進

- 社会福祉についての理解と関心を高めるための啓発に努めるとともにボランティアの育成及び実践活動の推進を図った。（ボランティア協力：太子特別支援学校・奥久慈湯の里太子マラソン大会）
- ボランティア連絡協議会を開催し、町内のボランティア活動を行っている個人・グループ同士の情報交換等を行い、ボランティア活動を機能的に推進できるように努めた。
 - ・ボランティア連絡協議会連絡会開催日：5/25
- ボランティア活動に対する相談支援や研修会等を行い、ボランティア活動の資質の向上に努めた。
- 安心してボランティア活動が行えるようボランティア活動保険の加入推進と保険料の一部助成を行った。
 - ・登録ボランティア数240名・ボランティア活動保険料助成件数182件
- “子どものときから福祉の目を”をスローガンのもと、町内の全小・中学校を児童・福祉のボランティア活動協力校に指定し、助成金の交付や出張講座、相談支援、研修会等の情報提供を行い、福祉教育の推進に努めた。
- ボランティアが読む「声の広報だいが」のCDを作成し、月1回町内希望施設に配布した。
- ボランティアの協力を得て、プライバシーを守りながら、ひとり暮らし高齢者等と定期的に会話をする「あんしんコール」を実施し、在宅生活の不安の解消に努めた。

<活動実績>

開設日	開設日数	利用者数	延件数
月・水・金曜日	142日	52名	2,144件

6 善意銀行の運営

- 善意を持って寄せられる金品及び技能・労力の受託並びに払い出しを行った。
- 不用品バザーを行い、ボランティア活動助成等の推進に努めた。

- 75歳以上のひとり暮らしの方へ、緊急入院や災害時に必要な物を入れ、保管しておく「安心箱」を民生委員児童委員の協力を得て配布した。(配布件数32名)
- 生活つなぎ資金の貸付を行い、生活安定と自立を支援した。

<預託状況>

物品件数	金銭件数	金額	備考
14件	45件	2,376,873円	一般預託金 2,288,033円 指定預託金(2件) 88,840円

<払出状況> (金銭預託は29年度預託金分を30年度で払出)

物品件数	金額	備考
11件	1,914,544円	安心箱配付事業(バスタオル・衣装ケースを配分) 76,982円 子育て支援(幼稚園・保育所(園)・子育て支援センターへ遊具・玩具を配分) 348,340円 車いす対応福祉車輛経費 251,722円 生活つなぎ資金貸付金 1,071,000円 ボランティア活動支援 2,000円 太子福祉作業所(指定寄付) 10,000円 介護用ベッド処分代 77,760円 火災見舞金 50,000円 その他(事務消耗品代・印刷代) 26,740円

<生活つなぎ資金貸付状況>

(単位=円)

前年度末貸付残高	本年度貸付額	本年度返済額	本年度末貸付残高
1,766,155	1,071,000	876,000	1,961,155

7 日常生活自立支援事業

- 認知症の高齢者や知的または精神的に障がいのある方など判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して、生活支援員が福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行い、地域で自立した生活が送れるよう支援した。

<利用状況>

前年度末契約数	本年度契約者数	本年度解約者数	本年度末契約者数	訪問件数
14名	6名	2名	18名	495件

8 権利擁護推進事業

- ひとり暮らし高齢者や障がい者等を対象に、緊急時に重要書類等を一時的に預かることで、安心して福祉サービス等を利用できるよう支援した。
- 判断能力が不十分な方を保護するため、成年後見制度の利用を希望している親族等からの

相談に応じられる窓口を設置した。

<利用状況>

前年度末契約数	本年度契約者数	本年度解約者数	本年度末契約者数
7名	2名	6名	3名

9 介護用品事業

○介護用品宅配事業

高齢者等に対し、宅配の方法により、毎月の上限額の範囲内を設けて無償で介護用品を支給した。

○介護用品購入費助成事業

高齢者等を介護している者に対し、上限額を設けて介護用品の購入費用の全部若しくは一部を助成した。

<内訳>

事業名	申請件数	助成額
介護用品宅配事業	521件	10,437,995円
介護用品購入助成事業	404件	12,673,310円
合計	925件	23,111,305円

10 在宅介護用品等貸出事業

○車いす対応福祉車両、介護用ベッドなどの無料貸出を行い、在宅介護者の負担軽減に努めるとともに要介護者が自宅で安心して生活し続けられるよう支援を行った。

<福祉車両（車いす対応車）貸出状況>

品名	総数	貸出回数
福祉車両（車いす対応）	1	120

<介護用ベッド、車いす貸出状況>

品名	総数	新規貸出件数	返却件数	本年度末貸出中件数
ギャッジベッド	53	1	2	45
車いす	42	64	61	33

11 生活福祉資金貸付事業

○民生委員児童委員の協力を得て、生活福祉資金貸付、償還の相談に応じた。

(1) 貸付件数 13件

(2) 貸付額合計 7,878,066円（貸付利子を含む）

(3) 3月末未償還金残高 11,004,115円（滞納額を含む）

II 障がい福祉サービス事業

1 2 就労継続支援事業の運営

- 障害者総合支援法に基づき、在宅の知的・身体・精神障がい者が通所し、日常生活に必要な社会性の訓練・軽作業を継続的に行い、自立と社会生活への適応力を養えるよう就労継続支援事業所（大子福祉作業所と若草共同作業所）の運営に努めた。

<利用状況>

大子福祉作業所（定員 20 名）		若草共同作業所（定員 20 名）	
利用申込者数	17 名	利用申込者数	21 名
開所日数	233 日	開所日数	245 日
延利用者数	3,136 名	延利用者数	3,759 名
1 日平均	13.5 名	1 日平均	15.3 名

1 3 特定相談支援事業所の運営

- 障害者総合支援法に基づき、利用者が有する能力や適性に応じ、自立した日常生活・社会生活を営むことができるように配慮して相談に応じた。
- ・契約件数 42件

1 4 障害者虐待防止対策支援事業

- 障害者虐待防止法に基づき、行政や各関係機関と連携をとりながら障がい者に対する虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援ができるよう努めた。
- 虐待の通報窓口を設置し、虐待防止に努めた。

III 受託事業

1 5 大子町文化福祉会館『まいん』指定管理事業

- 町民がいつでも安全に気持ちよく利用できるよう施設の適正な管理に努めた。
- 大子町文化福祉会館「まいん」に設置している全自動血圧計を活用し、「まいん」利用者の健康管理に努めた。

<部屋別貸館状況>

区分	文化ホール	観光交流ホール	小会議室	高齢者活動室	相談室	学習室	子育て支援室	展示コーナー	合計
件数	117	713	416	423	184	—	580	—	2,433
人数	20,352	35,252	4,635	5,476	312	5,074	12,857	5,108	89,066

16 在宅福祉サービスセンター事業

○非営利的な有償による訪問サービスを行う住民参加型福祉供給組織「在宅福祉サービスセンター」を設置し、高齢者や障がい者等の家事援助・話し相手等の様々な支援を行い、在宅での日常生活の充実を図るとともに、本人・家族の身体的・精神的負担の軽減を図る在宅福祉サービスの推進に努めた。

<活動状況>

利用会員数	協力会員数	活動延回数
215名	29名	479回
活動延時間数		650.0 時間
(内訳) 食事の支度		63.5 時間
住居等の掃除、整理整頓		499.5 時間
生活必需品等の買い物		70.0 時間
通院及び外出付添		2.0 時間
衣類の洗濯		2.0 時間
話し相手・読み聞かせ		13.0 時間

17 ふれあい・いきいきサロン事業

○高齢者等が、身近な地域でボランティアと一緒に生きがいと健康づくりの企画運営を行う仲間づくり活動を通じて、高齢者の閉じこもり防止や孤独感の解消等が図れるよう活動支援や新規サロンの立ち上げ支援を行った。

- (1) 実施個所数 19カ所 (中央型9カ所・小地域型10カ所)
- (2) 申込者数 678名
- (3) 参加延人数 7,450名

<ふれあいいきいきサロン別活動実績>

名称	場所	実施日	実施回数	申込者数	参加延人数
ダンスくらぶ	町文化福祉会館	毎週火曜日	42	19	446
絵手紙くらぶ	町文化福祉会館	毎週火曜日	45	12	152
書道くらぶ	町文化福祉会館	毎月第2金曜日	12	10	73
うたごえくらぶ	町文化福祉会館	毎月第2・4木曜日	22	13	154
手芸くらぶ	町文化福祉会館	毎月第3金曜日	12	26	230
囲碁くらぶ	町文化福祉会館	毎週月曜日・金曜日	83	27	284
童謡くらぶ	町文化福祉会館	毎月第3水曜日	11	11	59
将棋くらぶ	町文化福祉会館	毎週木曜日・日曜日	82	25	532
いきいきヘルス体操	町文化福祉会館	毎週木曜日	49	126	1,324
町付地区いきいきサロン	黒沢コミュニティセンター	毎月第3火曜日	23	56	378
上郷いきいきサロン	上郷集会所	毎月第2木曜日	20	38	208
佐原ふれあいいきいきサロン	佐原コミュニティセンター	毎月第2・4火曜日	33	35	609
下野宮東区いきいきサロン	下野宮東区集会所	月1回	28	51	342

いきいきサロンなませ	生瀬コミュニティセンター	第2月火曜日	22	31	269
いきいきサロン前冥賀	前冥賀集会所	月1回	27	38	360
清流わかば	町内施設のグラウンドゴルフ場	月4回	69	32	1,031
元気アップ下小川	下小川コミュニティセンター	第3火曜日	28	64	372
近町ふれあい・いきいきサロン	近町公民館	第1金曜日・第3土曜日	31	38	465
おとめ会	上町公民館	第2月曜日	10	26	162

18 大子町高齢者大学運営

○高齢者の生涯学習・生きがい・健康づくりの推進のため、年12回の学習会等を開催した。また「歴史講座」を公開講座とし、多くの方に学習する機会の場の提供に努めた。

<月別実施状況>

月 日	学 習 内 容・講 師	場 所	参加人数	
4/20	平成30年度(第51回)入学式	町文化福祉会館	35名	
5/22	大子町の高齢者対策について 消費者相談について	福祉課 観光商工課	町文化福祉会館	32名
6/11	第2回定例町議会一般質問傍聴	町議会議場	31名	
7/30	大子町の歴史	飯村 尋道 氏	町文化福祉会館	107名
8/23	子育て支援ふれあい学習 だいが放課後児童クラブ	町文化福祉会館	31名	
9/18	町外施設等の見学	大子町外	30名	
10/24	町内施設等の見学	大子町内	29名	
11/21	地域づくり講演会 ノンフィクション・ライター 中澤 まゆみ氏	町文化福祉会館	30名	
12/12	火災予防等について 大子町消防本部・消防団 レッドエンジェルス	町文化福祉会館	43名	
H31/1/10	高齢者の交通安全について 悪徳商法撃退法について	大子警察署	町文化福祉会館	38名
2/15	介護予防について 地域包括支援センター お薬講座 茨城県薬剤師会ビックママあこ薬局 シルバーリハビリ体操 大子町シルバーリハビリ体操指導士会	町文化福祉会館	37名	
3/19	平成30年度(第51回)卒業式	町文化福祉会館	41名	

19 心配ごと相談事業の推進

○町民の生活上の悩みごと、心配ごとの相談の場として第1・3水曜日の午後に心配ごと相談所を開設し、問題解決への方向性を助言、指導を行った。

○法テラスとの連携を強化し、相談支援体制の充実に努めた。

○法テラスの協力により、無料弁護士相談会を開催した。

<開設状況>

開設月数	開設日数	取扱件数	出場相談員延人数
12	22	13	44

<相談種別件数>

相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	母子福祉・児童福祉	教育・青少年	心身障害(児)福祉	父子福祉・母子福祉	高齢者福祉	苦情	その他		
	1	0	1	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	13	
処理状況	解決																					
	再来																					
	民生委員																					
	他機関			1															1	4		6
	その他	1				4			1										1			7

20 家族介護者交流事業

○在宅介護者に対し“介護者のつどい”と“オムツの使い方講習会”を開催し、介護者のリフレッシュと情報交換の場を提供するとともに介護技術の向上・介護負担の軽減に努めた。

<開催状況>

月 日	内 容	参加人数
6/12	オムツの使い方講習会	22名
11/14	オムツの使い方講習会	18名
H31/2/7	在宅介護者のつどい(健康チェック・盛花づくり・交流会等)	24名

21 放課後児童健全育成事業

○保護者が就労等により昼間家庭にいない町内の小学校に通う1～5年生の児童を対象に、放課後や土曜日、長期休業期間等の学校休業日に家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成が図れるよう努めるとともに保護者の就労と子育ての両立支援を行った。

< だいたいご放課後児童クラブ開設状況 >

年間開設日数 (単位=日)												
平日 (放課後~18:00)			土曜日 (8:00~18:00)			長期休業日 (7:30~18:00)			合計			
199			26			41			266			
児童数 (年度末) () 内長期のみ利用者数 (単位=名)												
1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		合計		
15 (1)		7 (1)		17 (2)		9		9 (4)		57 (8)		
月別利用人数 (単位=名)												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
621	723	749	814	777	704	837	775	760	604	688	768	8,820

< 第2 だいたいご放課後児童クラブ開設状況 >

年間開設日数 (長期休業月のみ) (単位=日)						
4月	7月	8月	12月	1月	3月	合計
5	7	18	4	2	5	41
児童数 (年度末) (単位=名)						
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	合計	
13	15	7	9	3	47	
月別利用人数 (単位=名)						
4月	7月	8月	12月	1月	3月	合計
121	131	533	106	32	134	1,057

2.2 地域子育て支援拠点事業

○たんぼぼ広場を開催し、製作やリズム遊び、季節の行事を行った。

○保護者からの要望に対応し、ボランティア等の協力を得て読み聞かせ、ママヨガ、月齢別おしゃべりタイムを開催し、子育て支援の充実に努めた。

< たんぼぼ広場 >

開設日		開設時間				登録人数						
毎週火・金曜日		10:00~11:00				親73名・子88名						
月別利用人数 (単位=名)												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
138	229	223	253	137	174	187	190	205	141	215	152	2,244

○0 歳～就学前の子どもと保護者や妊婦等が地域で安心して子育てができるよう専門職による相談支援や一般開放を行い、同年齢の子育て中の方々と交流や情報交換ができる場を提供し、子育てしやすい環境整備に努めた。

<一般開放>

開設日							開設時間						
毎週月～金曜日および土曜日（不定期）							9：30～14：00						
月別利用人数												（単位＝名）	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
84	118	155	165	83	135	183	111	213	99	149	154	1,649	

<相談支援>

開設日	開設時間	相談人数	相談件数
毎週月～金曜日	9：00～17：00	10名	18件

○子育て支援センター登録者、町内保育所（園）や幼稚園に通う幼児、ボランティア活動者等を対象に親子ふれあいコンサートを開催し、子どもたちが豊かな心や感性が育めるよう支援した。

<開催状況>

月 日	内容・公演者	参加人数
7/19	「1ぱつ9のごうけつハンス」 「しちめんちょうおばさんのこどもたち」劇団プーク	348名
H31/2/8	こどもオペラ「ヘンゼルとグレーテル」 芸術文化創造ネットワーク株式会社	339名

2.3 ファミリーサポートセンター事業

○子育ての援助をしたい人と援助を受けたい人がお互い会員となり、子どもたちの健やかな育ちを地域ぐるみで助け合うため、ファミリーサポートセンターを設置し、保護者の就労と子育ての両立支援を行った。

○毎月第1月曜日に子育て支援センター利用者や登録会員を対象に定期説明会や勉強会を開催し、事業の利用促進に努めた。

<活動状況>

利用会員数	協力会員数	両方会員数	利用人数	利用件数	利用時間数							
15名	45名	6名	9名	9回	27時間							
月別利用人数 (単位=名)												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	1	0	0	1	2	2	1	2	9

2.4 生活支援体制整備事業

- 日常生活上の支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援、介護予防サービスの提供体制を構築するため、15名の委員を委嘱し大子町生活支援・介護予防体制整備推進協議会を6回開催した。
- 生活支援コーディネータを配置し、協議会と協力しながら、ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支援体制の充実・強化に努めた。
- サービスや支援の担い手となるボランティア等の養成を目的に、だいがお助け隊養成研修を開催し福祉の充実に努めた。

<実施状況>

月 日	内 容	参加人数
H31/2/18	家事を助け隊養成 (株)ゆりかご 脇 健人 氏	23名
H31/3/1	つどいの場づくりを助け隊養成 常磐大学 池田 幸也 氏	33名
H31/3/13	移動を助け隊養成 NPO ウィラブ 北茨城 高松志津夫 氏	15名

2.5 啓発事業

- 地元新聞2社の協力により事業等の周知・報告を行った。
- 社協の事業をまとめた「社協パンフレット」を活用し、社協事業の啓発に努めた。
- 公式ホームページを活用し、社協活動の周知を行った。
- 広報「福祉だいが」を年2回(1回7,000部)発行し、住民に親しまれるよう紙面の充実を図り、全戸配布することにより社会福祉協議会の活動内容の周知に努めた。

2.6 福祉団体との連携及び事業への協力援助

- 大子町老人クラブ連絡協議会、大子町身体障害者福祉協議会、大子町母子福祉連合会、大子町遺族連合会、大子町更生保護女性の会、5団体の事務局として社協活動との連携を図りながら福祉団体の支援に努めた。

2.7 総合相談支援

- 福祉に関することをはじめ、日常生活に関することなど、福祉の専門職が様々な相談に応じ、共に解決に向かえるように支援を行った。